



# の の む ら あ や の 野々村 彩乃さん

関門PR動画へ出演のため、ふるさとへ。  
全国を舞台に活動を続けるソプラノ歌手に  
故郷への思いを聞きました。



## 支えがあるから 歌い続けられる

### 音楽の原点

下関市出身のソプラノ歌手・野々村彩乃さんは、クラシックの舞台を軸に、オーケストラとの共演やリサイタルなど全国各地で演奏活動を精力的に行っています。近年はアニメ音楽やJ-POP、ドラマの主題歌の歌唱にも取り組み、ジャンルの枠を越えて活躍の場を広げています。

音楽との出会いは幼い頃。父親の車の中で流れていた歌謡曲を、自然と口ずさんでいたといいます。歌うことが日常の中にあつた時間。その積み重ねが、現在の活動へとつながっています。



▲カメラの前で、表情や視線を丁寧に確認しながら柔らかな笑顔で撮影に臨む野々村さん。

音楽の基礎を学んだのは、下関少年少女合唱隊でした。そして、さらに専門的に学ぶため、高校は広島音楽学校へ進学。下関を離れる決断でした。新しい環境への期待がある一方、両親と離れる日のことには、今も鮮明に覚えているといいます。見慣れた景色を背にする寂しさ。歌に向き合う覚悟を強めた瞬間でした。

### 歌と向き合う姿勢

舞台上に立つとき、何より大切にしているのは「聴いてくださる方への感謝」と野々村さん。

「演奏会は、来てくださる方がいてこそ成り立ちます。YouTubeの配信もしていますが、これも観てくださる方がいるから続けられます」

現在YouTubeで配信している「ソプラノ歌手が歌う歌謡曲」シリーズも、幼い頃に親しんだ音楽が原点。歌うことに真摯に向き合い、積み重ねてきた時間が、表現の幅を支えています。



今でも使う  
イタリア歌曲の楽譜

# Linked Instagram インスタグラム

市報×インスタグラム連動企画  
フォロワーの皆さんが投稿した下関  
の魅力が伝わる写真をご紹介します♡



♡ 👤 @shima\_tabiさん



♡ 👤 @murasaki\_imotaroさん



♡ 👤 @hikoshima\_bbcさん

(上から)内日神社、弟子待なかよし公園、  
オーヴィジョンスタジアム下関

Can You GUESS Where This Is?

## Editor's note

◆しもまちポイントアプリがついにリリース  
されました！ 個人的にすごく楽しみにして  
いたので、早速廃食用油をペットボトルにた  
めたり、イベントへ参加する計画を立てたり  
と、着々と準備を進めています。私はポイント  
をしっかりためてから、一気に使おうと考  
えています！ 使い方は人それぞれなので、  
皆さんもライフスタイルに合わせてしもポを  
楽しんでくださいね。(い)

## 編集後記

「これからも、歌をはじめ、  
さまざまな場面で、下関の良  
さを伝えていけたらうれしい  
です」

「帰ると、彩乃ちゃん元気  
だった？ って声を掛けてもら  
えるんです」。何気ない言葉が、  
自分には帰れる場所があると  
実感させてくれる。その思い  
が、次の舞台へ向かう力にな  
るといいます。

「届けるか」ということ。表  
現方法が変わっても、その姿  
勢は変わりません。

野々村さんにとって、下関  
は今も心を整える場所。帰省  
するたびに、家族や知人、地  
域の人たちが温かく迎えてく  
れるといいます。



▶ 関門地域PR動画の  
ワンシーン。動画は、  
4月中旬以降、市HPな  
どで公開される。



◀ 今回は、歌ではなく  
“演じる”ことに挑戦。  
新しい表現にも自然体  
で向き合う。  
野々村さんは、「しも  
のせき海響大使」とし  
て、さまざまな場面で  
ふるさと・下関の魅力  
を伝えている。



▲クラシックから歌謡曲まで。  
ジャンルを越えた歌声を発信し  
ている。

▶ 野々村彩乃  
YouTube公式  
チャンネル



## ふるさとという文え

今回の帰郷は、関門地域の  
PR動画への出演がきっかけ  
でした。歌ではなく、映像の  
中で役柄を演じるという新た  
な挑戦。長いブームマイクが  
頭上から差し出される中、動  
きや視線を一つひとつ確かめ  
ながら撮影に臨んでいました。  
クラシックの舞台ではマイ  
クを使わずに声を響かせます。  
一方、歌の収録などでもマイ  
クを使うときは繊細なコント  
ロールが求められます。「そこ  
は、カメラの前で演技をする  
のも似ているな」と思い、勉強  
になりました」。形が変わっ  
ても、考え続けているのは「ど